

これまでの取り組み — 農業実習

■ 概要

- 近畿大学 農学部 農業生産科学科 2年生を対象とした実習
- 平成29年度より、曾爾村役場を受け入れ窓口として、曾爾村内の農業者の元での農業実習を実施
 - ※平成29年度：6名、平成30年度：6名
 - ※実習の品目は、トマト、ホウレンソウ、ベビーリーフ、米 等
- 農産物の生産・流通・販売、特産品づくりに加え、曾爾村の自然環境や伝統文化等について、現場で深く学ぶ



これまでの取り組み — 農業実習

平成29年度



平成30年度



これまでの取り組み — 卒業論文

■ 概要

- 近畿大学 農学部 農業生産科学科 農業経営経済学研究室の卒業論文への協力(平成30年度)
- 曾爾村の2地区の住民の方を対象に、食料品の移動販売に関するアンケート調査を実施。都市部(京都市伏見区)で実施したアンケート調査の結果との比較分析を実施



アンケート結果(移動販売について)

	曾爾村	伏見区
希望距離(平均)	徒歩 7.23 分以内	徒歩 5.53 分以内
利用したい頻度	週に1~3回程度	週に1~3回程度
利用したい時間帯	9~12時頃	9~12時頃
販売して欲しい食料品	野菜、果物、卵、 魚、肉、調味料	野菜、果物、卵、 米、飲料、パン
その他のサービス	・日用品の販売 ・ 注文販売	・日用品の販売 ・ 重い荷物を自宅まで運ぶ

今後の連携内容(例)

① 農業実習の継続・発展

※令和元年度：9/2～7の日程で7名の学生が参加予定

② 農業女子プロジェクトを通じた連携

村内の女性農業者と共同での商品開発（トマト他）、
援農、その他交流事業 等



参考 農業女子プロジェクト

近畿大学農学部 × 農業女子プロジェクト 活動紹介

- ◆ 近畿大学農学部は、平成30年3月、農業女子プロジェクト「未来の農業女子育成 チーム“はぐくみ”」のパートナー校となりました。これは、西日本に拠点を置く大学としては初めての取り組みです。
- ◆ 現在は、農業生産科学科が中心となり、農林水産省（プロジェクトの事務局）や農業女子と連携し、未来の農業女子の育成に向けた活動を実施しています。

活動の例

- ① 農業女子を招いての講義
- ② 農業女子の訪問調査
- ③ 農業女子のもとでの体験農業実習
- ④ 農業女子や参画企業との連携による商品開発

